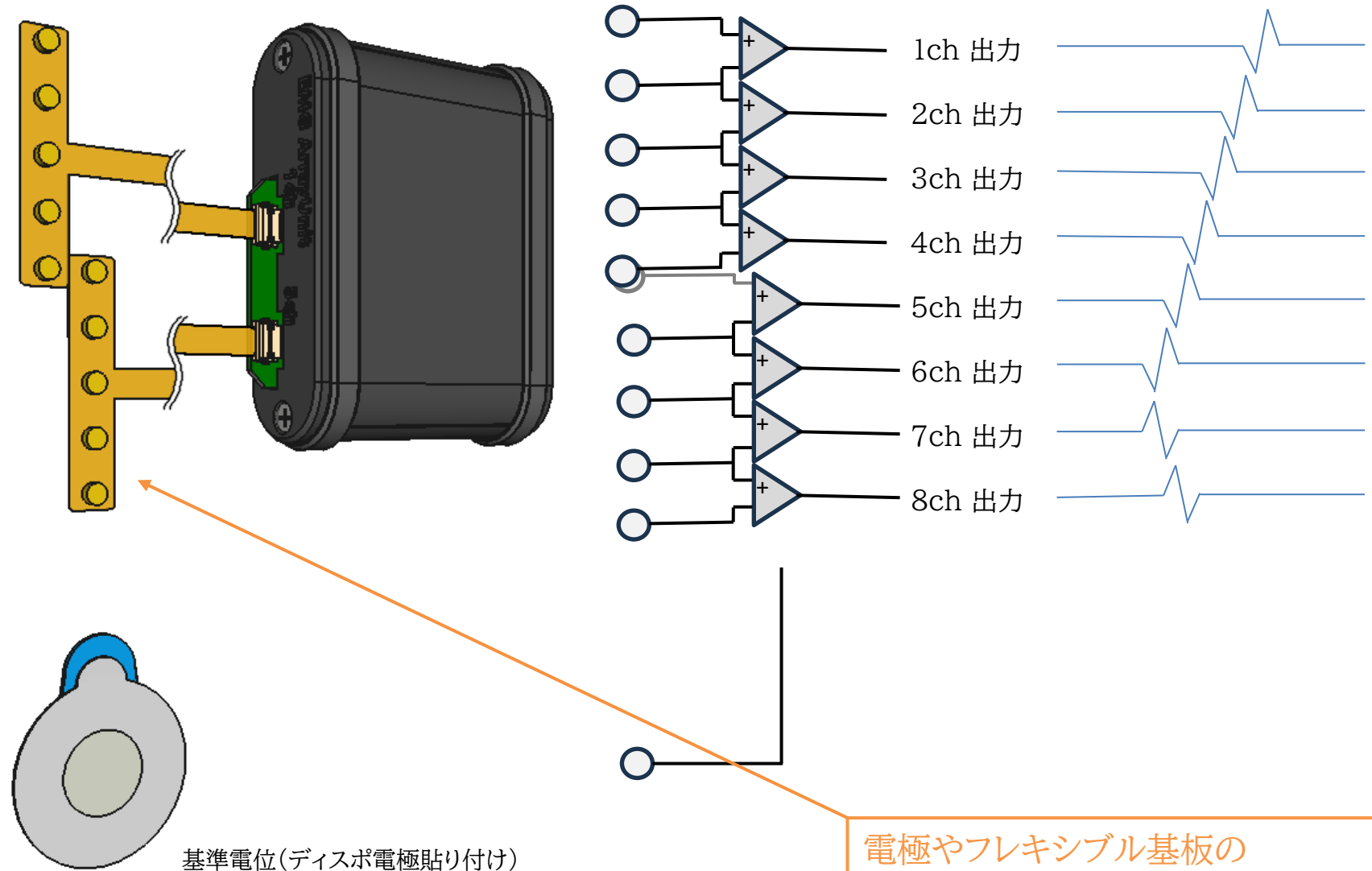
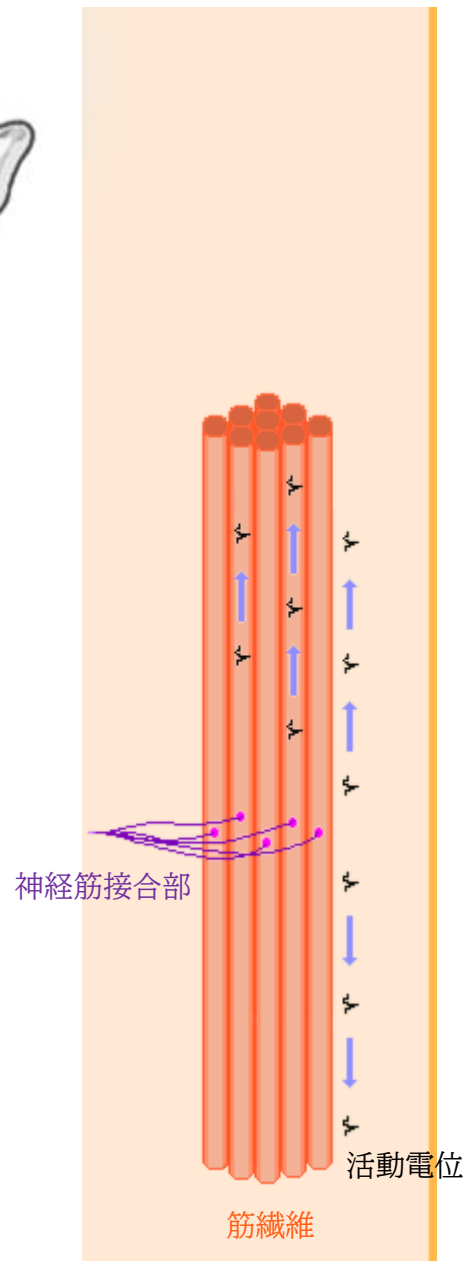
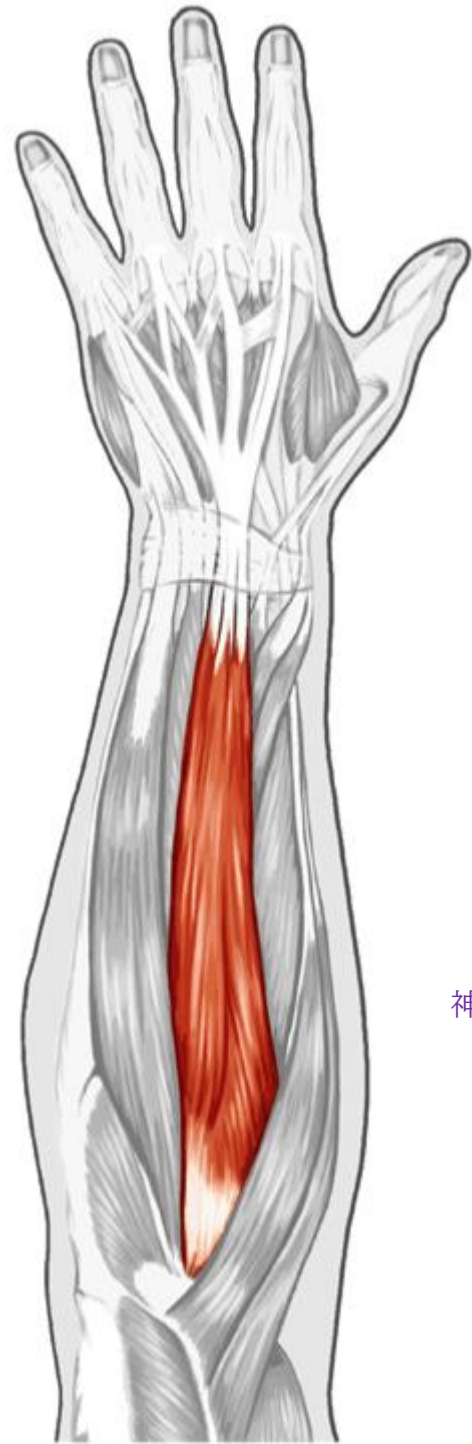


筋電アレイユニットの説明

双極誘導法での筋電計測では、
筋電アンプにより 基準電位とプラス入力間の電圧と、
基準電位とマイナス入力間の電圧の差を増幅することで
出力の筋電波形が導き出されます。

下の図の様に筋電アンプと入力電極を並べることで、
神経筋接合部より筋繊維の端まで活動電位が伝わっていく様子が計測出来ます。

アレイアンプは、
単純に複数の筋電電極を一つにまとめるという用途の他に、活動電位の伝わる速さである
伝導速度を求めるといった使い方や、波形の極性の切り替わる部分から神経筋接合部の
位置を確認するなどの用途にもご使用頂けます。



電極やフレキシブル基板の
形状やサイズはカスタマイズ可能です。

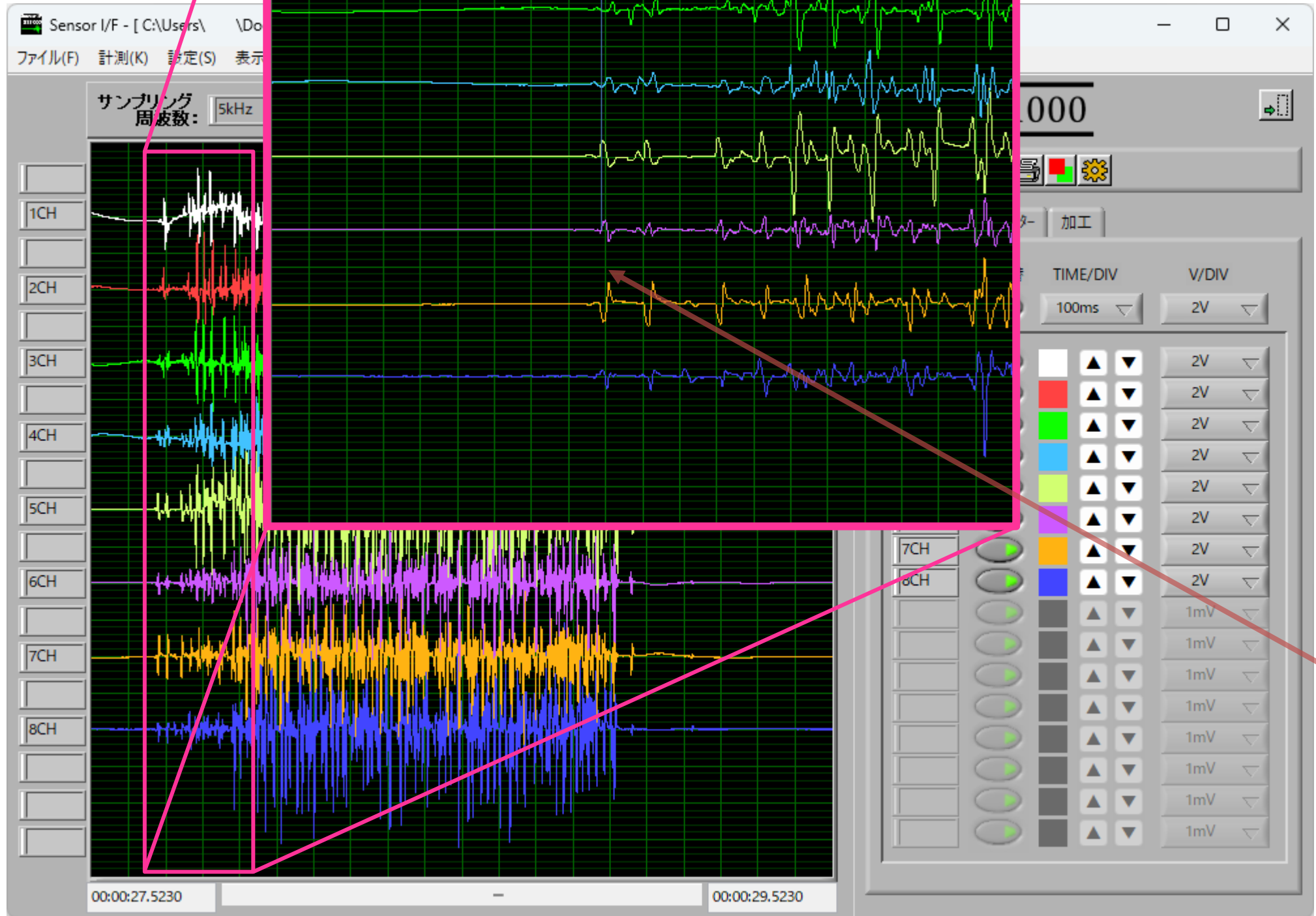
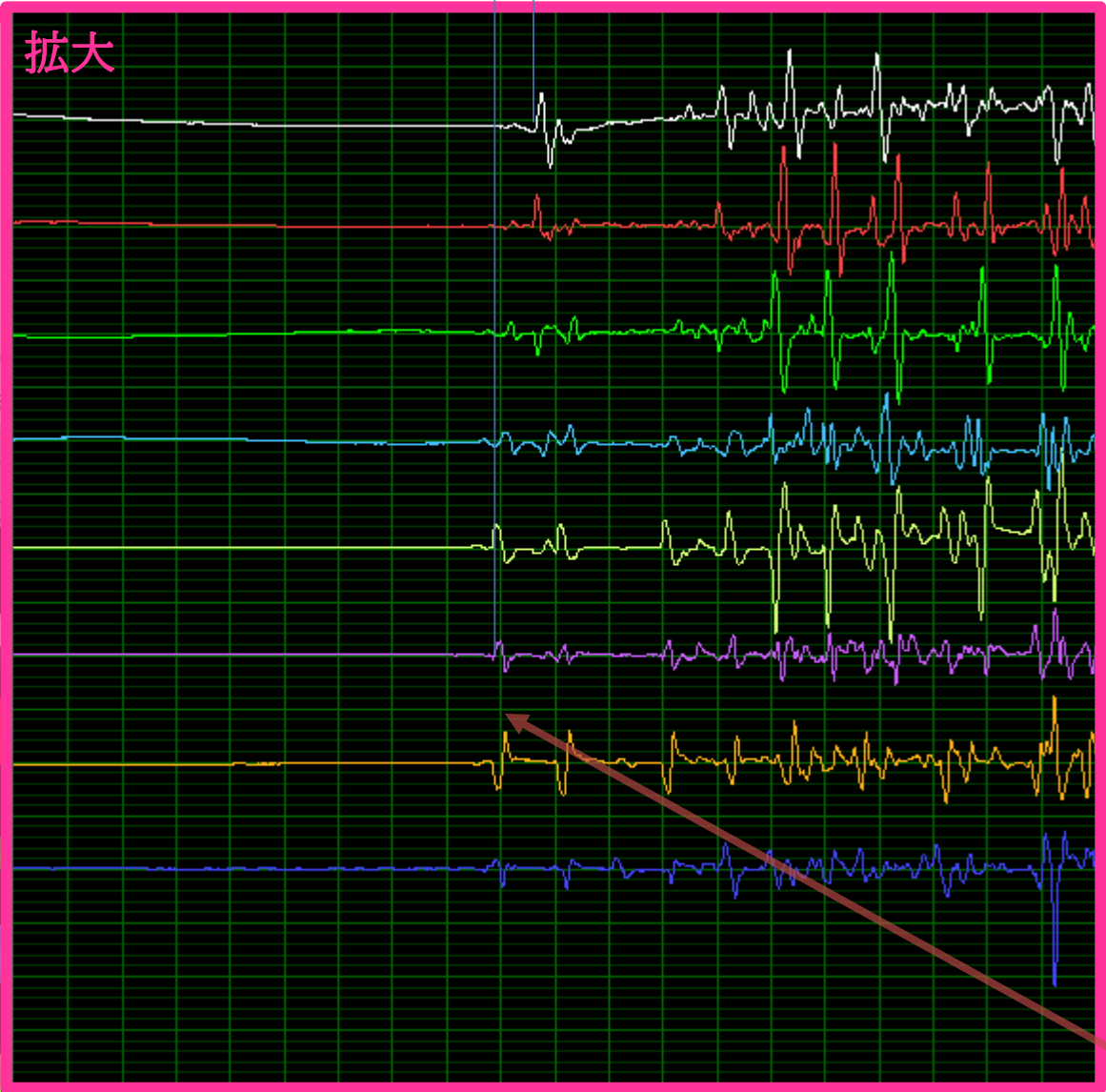
筋電アレイユニットの説明

実測データ
橈側手根屈筋での計測

伝導速度 = 電極の間隔 / 時間 = 0.05m / 0.015s = 3.33m/s

伝導速度は健常成人で室温では3~5m/s程度、
皮膚温が1℃変化すると0.1~0.2m/s変化すること。

時間



極性の反転 = 神経筋接合部の位置

